

数学

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
数学	数学 I	4	1年次・全	必履修
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
最新 数学 I（数研出版）		Study-Upノート 数学 I		1年次必履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	第1章 数と式	第1節 数と式 1. 多項式 2. 多項式の加法・減法乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解 6. いろいろな因数分解 節末問題、発展			
1 学 期		第2節 実数 7. 実数、研究 8. 根号を含む式の計算 節末問題、発展	4	式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字に置き換えたりのなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	1 3 1 2 1 1 2 1 3 1 2 3 1
		第3節 1次不等式 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式、コラム 13. 不等式の利用 節末問題、章末問題	5	中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	1 2 3 1 2 2
		第2章 集合と命題	7	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	1 2 3 1 2 1 3 1 3 2 3
	1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明、研究 問題、章末問題		集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	1 2 3 1 3 1 2 3 1 2 3	

